

つばめ

燕地区

(新潟県燕市)

- 計画期間 平成24年度～平成29年度
- 面積 130ha
- 交付対象事業費 2,182百万円
- 市人口 80,091人 (地区内人口 2,962人)

ポイント

安心し、快適に暮らせる魅力あるまちづくり

目標

- ① 浸水被害の少ない安全な市街地を形成する
- ② 快適に暮らすことのできる環境を整備する

指標

防災性の高い安全な市街地の形成に向けた浸水被害の軽減と地域住民の憩いの場として利用される公園整備を目標とした。

地区概要

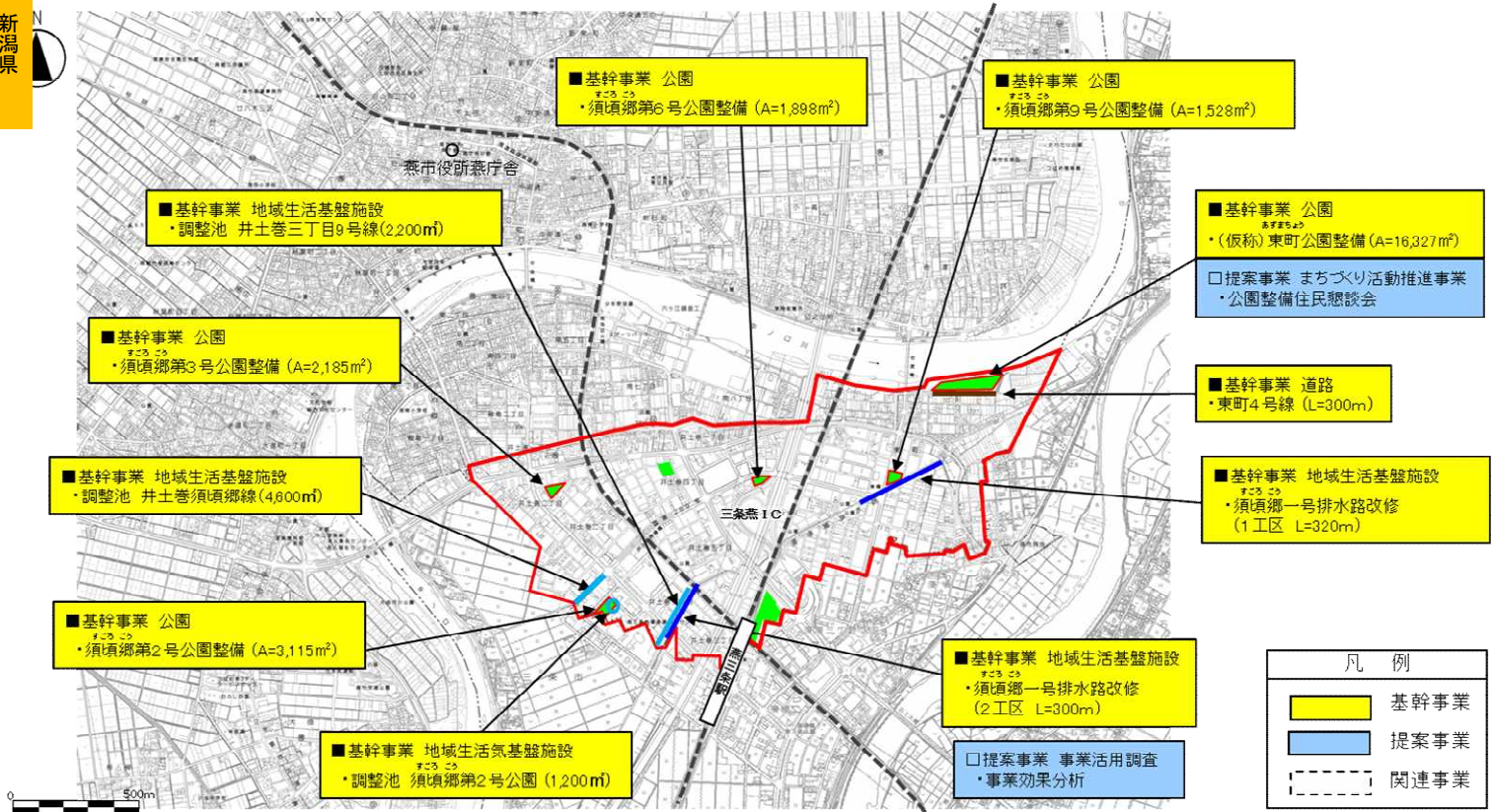
浸水被害の軽減を図るための排水路の整備と調整池を設置する。また、暮らしやすい環境整備に向けて未整備な公園の一部を整備する。

須頃郷地区の浸水予想区 域面積	38.5ha (H23)	→	12.5ha (H29)
公園利用者数	60人 (H23)	→	170人 (H28)

事業内容

基幹事業 (2,178百万円) → 道路 (1カ所 L=300m)、公園 (4カ所 A=22,868㎡)、排水路改修 (1カ所 L=620m)、調整池設置 (3ヶ所 V=8,000㎡)

提案事業 (4百万円) → 事業効果分析 (一式)、公園整備住民懇談会 (一式)



地区の現況と課題

燕地区の現況

本地区は、信濃川と中ノ口川に挟まれた上越新幹線燕駅周辺の市街地であり、北陸自動車道三条燕 IC を擁し、広域的な交通網の結節点となっているものの、集中豪雨時などに度重なる浸水被害が発生しており、水害に対して脆弱な状況がみられる。

平成 19 年度よりまちづくり交付金による総合的なまちづくりを展開し、中心市街地にふさわしい、防災性の高い、活気と活力あふれるまちづくりに取り組んできたものの、平成 23 年 7 月の新潟福島豪雨にみられるように、降雨量が大きな場合、対応ができず浸水被害が発生するなど、更なる浸水被害の軽減に向けた対応が求められている。

地区の課題

集中豪雨時の排水対策により、降雨時においても安心して暮らせる浸水被害の軽減に向けた排水機能の強化が課題となっている。

また、交通利便性の高い地区であり宅地化が進んでいるものの公園が未整備な状況であり、地区住民が快適に暮らすことのできる公園整備が求められている。



▲雨で浸水被害が発生し通行止めとなる

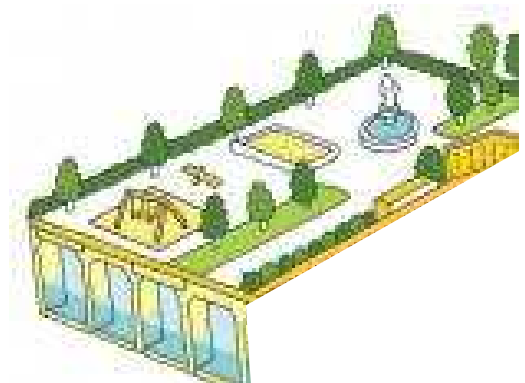


▲公園予定地

提案事業の特徴

公園整備住民懇談会

(仮称) 東町公園は、中越衛生組合し尿処理施設跡地に地域住民の憩いの場となる公園を整備するものである。住民懇談会の開催を通じて、地域住民の意見集約を行うと共に、まちづくりへの関心・意識を育み、地域住民の利用に配慮して、地域の力で維持管理され地域に愛される公園を目指すものである。



▲公園を活用した調整池の設置イメージ

計画策定プロセス

これまでの計画と事業の実施

平成 19 年度よりまちづくり交付金による総合的なまちづくりを展開してきたものの、近年の集中豪雨時において浸水被害が発生するなど、度重なる浸水被害の対策に向けて、須頃郷地区排水対策検証会が組織され排水対策の強化に向けた検討が行われ、この検証会の報告を受けて排水路の改修や公園を活用した調整池の設置等、更なる排水機能の強化を行っていくものである。

地元関係者等の参画等

公園整備後の管理運営については、現在須頃郷 2 号公園の管理を行っている NPO 法人「ネットワークみどり緑」との連携・協働を検討するなど、公共空間における緑の演出を通じて地域住民が主体となった継続的なまちづくり活動へと展開を図る。



▲NPO 法人「ネットワークみどり緑」が管理・運営する三燕みどりの森公園